

令和7年度

研修案内



札幌市幼児教育センター

令和7年度 札幌市教員研修計画【教員編】

※研修計画【教員編】は【特別支援学校・学級、通級指導教室担当教員編】【幼稚園教諭・保育教諭編】を兼ねる。

[illegible]

札幌市教員育成指標【幼稚園教諭・保育教諭編】

※「研修計画」については【教員編】に含まれます。

(平成31年2月19日策定)
(令和4年3月1日一部改定)

求める教員像	カテゴリー	ステージ 観点	【養成段階】	ステージ1 【基礎形成期】	ステージ2 【向上・充実期】	ステージ3 【深化・牽引期】
			札幌市が求める教員人生 スタート時の姿	幼児理解、保育実践、学 級経営等に関する基礎的・ 基本的な指導力を身に付 け、教職としての基礎を 固める。	専門性を高め、幼児理解、 保育実践、学級経営等に 関する実践的指導力の向 上を図り、リーダーとし ての資質を磨く。	豊富な経験を生かして、 全園的な視野に立ち、園 づくりの中心的な役割を 果たし組織的な運営力を 高める。
教育者として、強い使命 感・倫理観と子どもへの 深い教育的愛情を、常に もち続けている教員	教職の素養	使命感・責任感・倫 理観	●教育者として、崇高な使命を深く自覚し、強い責任感や法令遵守の精神、高い倫理観をもっている。			
		情熱・教育的愛情	●札幌を理解し、愛着をもつとともに、教職への誇りと情熱、子どもへの深い教育的愛情をもっている。			
		人間性・コミュニ ケーション	●豊かな人間性や広い視野、人権尊重の意識をもち、コミュニケーションを図りながら、同僚性を高め、他者との信頼関係を構築している。			
		学び続けようとする 意欲	●常に自己研鑽に努め、向上心をもって主体的に学び続けている。			
教育の専門家として、実践的指導力や 専門性の向上に主体的に取り組む教員	保育実践	保育の構想	幼稚園教育要領等を理解し、各領域を踏まえたねらいや内容を明確にした保育を構想しようとしている。	幼児の興味や関心を生かしながら、各領域を踏まえたねらいや内容を明確に設定し、適切な環境を構成するなどして保育を構想している。	地域や園の特色を生かし、幼児の育ちに合った各領域を踏まえたねらいを立て、多様な保育を構想している。	地域や園の実態を的確に捉え、多様な保育を実践するとともに、同僚に適切な対応をしている。
		保育技術	幼児期における遊びや活動に関する基本的な保育技術を理解し、実践しようとしている。	効果的な環境の構成や指導方法等の保育技術を、多くの実践を通して学び、身に付けている。	各領域のねらいや内容に合った計画的な環境の構成や指導の工夫をするなど、確かな保育技術を身に付けている。	豊富な経験から身に付けた確かな保育技術等を生かし保育実践をするとともに、同僚に適切な対応をしている。
		保育実践の評価・改善	保育実践を改善する意義や見直す手だてを理解し、実践しようとしている。	自分の保育実践を適切に見直し、その成果と課題を明確にした上で、次の実践に活かしている。	保育実践を改善する意識を常にもち続け、より効果的な手だてを考え、次の実践に活かしている。	子どもの育ちの状況から保育実践を見つめ直し、自らの実践の改善を図るとともに、同僚に適切な対応をしている。
	幼児指導	幼児理解	幼児理解の大切さを認識し、積極的に向き合おうとしている。	基礎的な知識を身に付け、幼児一人一人の発達の特徴や育ちの状況を理解し、適切に向き合っている。	幼児の発達の特性や育ちの状況を広い視野から捉え、言動や表情から内面を深く理解し、寄り添った対応をしている。	専門性を生かし、その子らしさを大切にするとともに、発達の課題に即した効果的な手だてを講じて、迅速で組織的な対応をしている。
		人間関係づくり	幼児一人一人の言動や表情にしっかり目を向けるとともに、進んで関わろうとしている。	情熱をもって学級経営を行うとともに、幼児同士の関わり合いに目を向けながら、温かい関係を築き、きめ細かく対応している。	幼児同士がよさや持ち味を生かしながら関わり合うなど、ビジョンをもって学年・学級等の運営に当たり、どの子にも適切に対応している。	園全体に肯定的・受容的な関係づくりを広げ、チームとしての機能を高め、適切に対応している。
		組織的な対応	幼児指導の組織的対応の重要性を理解し、実践しようとしている。	家庭との連携を日常的に進め、園内組織を活用し、教職員間で幼児の情報を共有するなど、状況に応じて適切に指導している。	家庭や地域をはじめ、関係機関と連携しながら、園内組織を活用し、状況に応じて適切に課題解決している。	家庭や地域、様々な関係機関と連携して組織体制を整え、迅速かつ適切に課題解決している。
	教育課題への対応	特別支援教育に関する専門性	幼児一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育に関する専門性について理解を深めようとしている。	幼児一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育に関する専門性について、基礎的知識や基本的指導力を身に付けている。	幼児一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育に関する専門性について深く理解し、実践的指導力を身に付けている。	幼児一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育に関する専門性につき、組織的な対応の中心的役割を務めている。
		I C T活用指導力	情報モラル・情報セキュリティを正しく理解し、I C Tを適切に活用しようとしている。	保育における、幼児の体験との関連を考慮したI C Tの効果的な活用場面を計画し、実践することができる。	保育における、幼児の体験との関連を考慮したI C Tの効果的な活用方法を開発し、実践することができる。	情報モラル等に関する情報収集を行い、S N S等の有益性や危険性を自覚するとともに、I C Tの効果的な活用方法や情報発信等、同僚に適切な対応をしている。
園・学校づくりを担う一員として、地域等とも連携・協働しながら、課題解決に取り組む教員	マネジメント	園づくりへの参画	学級担任・園務等について理解し、実践しようとしている。	教育目標等を踏まえ、学級経営の方針を立て実践している。	学年経営等の組織運営に進んで参画し、教育目標の実現に向けて工夫改善を行っている。	園づくりに牽引役として参画し、園全体の教育活動の活性化や充実を図っている。
		危機管理	危機管理の重要性を理解し、危機を察知して迅速な行動をとろうとしている。	安全・安心に配慮した環境について理解し整備するとともに、事故等の発生時には、速やかに報告等を行い対応している。	危機を予測し、未然防止に向けてリーダーシップを発揮するとともに、チームとして早期発見、早期対応を組織的に行っている。	学校安全に関わる未然防止、再発防止を組織的に推進するとともに、緊急時にはチームの中核として対応している。
		関係機関等との連携	家庭や地域、関係機関や小学校との連携の大切さを理解し、教育活動に活かそうとしている。	それぞれの役割を理解し、家庭や地域、関係機関や小学校と連携・協働して日常の実践を進めている。	家庭や地域、関係機関や小学校と関わりを深め、適切に連携・協働して対応している。	家庭や地域、関係機関や小学校との円滑なネットワークを形成し、連携・協働して対応している。
		教育課題への協働的な対応	教育課題に関心をもち、協働的に行動することの重要性について理解を深めようとしている。	教育課題を把握するとともに、同僚と協働して課題解決に当たるよさを理解し、ともに支え合い実践している。	教育課題の解決に向け、連携の在り方や有効な手だてなどを考え、同僚と協働し、ともに支え合い、効率的かつ適切に対応している。	教育課題の解決に向け、リーダーシップを発揮するとともに、全園的な視野に立ち、一人一人の役割を生かしながら、見通しをもって適切に対応している。

幼児教育センター講演会

幼児教育に携わる者として視野を広げ、幅広い見識を身に付けます。

コース	実施予定日	講座名	予定会場	講師	二次元コード
Y01	10月2日(木) 18:00~20:00	家庭や地域、社会とつながる幼児教育 ～質の高い幼児教育の実践のために～	ちえりあ 6階 講堂	北海道大学大学院 教育学研究院 教授 川 田 学	
		https://x.gd/Qr4DV			

保育実践研修

日々の実践にすぐに生かせる具体的な内容を学び、保育の実践力を高めます。

コース	実施予定日	講座名	予定会場	講師	二次元コード
Y02	7月30日(水) 13:30~16:45	<講義・実技> 運動遊びから考える保育実践① ～乳幼児期に大切にしたい動きや経験～	ちえりあ 4階 体育室	認定こども園 おとぎのくに 竹 口 敦 子	
		https://x.gd/iY3NQ			
Y03	9月8日(月) 14:30~16:45	<講義・実技> 子どもの「表したい」を支える① ～造形遊びを通して～	ちえりあ 6階 講堂	北海道教育大学札幌校 教授 花 輪 大 輔	
		https://x.gd/fQ3AJ			
Y04	1月7日(水) 13:30~16:45	<講義・実技> 運動遊びから考える保育実践② ～体を動かしたくなる遊びと環境づくり～	ちえりあ 4階 体育室	市立幌南小学校 教諭 梅 村 拓 未	
		https://x.gd/F6fZR			
Y05	12月8日(月) 14:30~16:45	<講義・実技> 子どもの「表したい」を支える② ～描画の発達原理と指導～	ちえりあ 6階 講堂	北海道教育大学札幌校 教授 花 輪 大 輔	
		https://x.gd/WQapR			

幼児教育ミドルリーダー研修

園における中核としてリーダーとなるべく自己啓発を行い、広い見識と実践的指導力を養います。

コース	実施予定日	講座名	予定会場	講師	二次元コード
Y06 ★	8月4日(月) 9:30~12:15	<講義> 幼児期の健康管理	ちえりあ 6階 講堂	市立前田小学校 養護教諭 宮 崎 真 紀	
		https://x.gd/3WtqW			
Y07 ★	7月18日(金) より配信	<講義> 幼児教育施設における危機管理	動画配信	市立清田小学校 校長 菅 野 道 正	
		https://x.gd/AmzYA			
Y08 ★	8月29日(金) 14:30~16:45	<講義・演習> 保護者や地域とつながる 幼児教育施設の役割	ちえりあ 6階 講堂	NPO法人子育て応援 かざぐるま代表 山 田 智 子	
		https://x.gd/1ZBG6			

★印の講座は中堅教諭等資質向上研修受講者の指定研修を兼ねています。

専門研修

専門研修は、領域や教育課題に関する専門的な知識や技能の習得により、指導力の向上を図ります。

コース	実施予定日	講座名	予定会場	講師	二次元コード
A21★	8月6日(水) 9:30~12:15	＜講義・演習＞ 「遊び」は「学び」 ～子どもの主体性を支える教育～ https://x.gd/h4ni4	ちえりあ 6階 講堂	名古屋学芸大学 ヒューマンケア学部 教授 津 金 美智子	
A23★	8月8日(金) 14:30~16:45	＜講義・協議＞ 幼児教育から小学校教育への円滑な接続 ～架け橋期を考える～ https://x.gd/iz6t4	ちえりあ 6階 講堂	広島大学 名誉教授 朝 倉 淳	
B01★	8月21日(木) 15:00~16:45	＜講義・演習＞ 虐待への対応と関係機関との連携 【幼児編】 https://x.gd/w0oUt	ちえりあ 6階 講堂	東部児童相談所 緊急対応担当課 調査担当係長 佐 藤 雅 哉	
C05★	10月9日(木) 9:30~12:15	＜公開保育＞ 特別な教育的支援を必要とする 幼児の指導 https://x.gd/DbP2P	市立 きくすい もとまち 幼稚園	市立きくすいもとまち幼稚園 教諭 久 保 敦 子	
C06	8月6日(水) 14:30~16:45	＜講義・演習＞ 障がいの理解と保護者支援 【幼児期】 https://x.gd/VdOYP	ちえりあ 6階 講堂	香川大学 教育学部 准教授 松 井 剛 太	
C07	10月10日(金) 14:30~16:45	＜講義・演習＞ 帰国・外国人幼児への指導のポイント ～安心して自己を発揮できる園生活のために～ https://x.gd/zHaYs	ちえりあ 6階 講堂	東洋大学 福祉社会デザイン学部 教授 内 田 千 春	

オンデマンドライブラリー

オンデマンドライブラリーは、自身のペースで研修ができるように動画配信となっています。

コース	実施予定日	講座名	予定会場	講師	二次元コード
L07	7月18日(金) より配信	＜講義・演習＞ 食育 ～幼児教育における実践～ https://x.gd/w1LDp	動画配信	中央区保育・子育て支援センター 栄養士 池 端 希代美	
L11★	7月18日(金) より配信	＜講義・演習＞ 乳幼児期の 母子保健・家庭支援 https://x.gd/07qvy	動画配信	中央区保健福祉部健康・子ども課 保健師 水 野 沙 紀	
L16	7月18日(金) より配信	＜講義・演習＞ 子どもの人権から保育を考える https://x.gd/ndGGJ	動画配信	藤女子大学 ウェルビーイング学部 教授 吾 田 富士子	

※札幌市教育センター「専門研修」のうち、幼児教育施設対象のものを抜粋しています。
★印の講座は中堅教諭等資質向上研修受講者の指定研修を兼ねています。

令和7年度 幼児教育センター研修受講手続について

研修受講を希望される場合については、Googleフォームでお申込みいただきます。
以下の手順をご確認の上、お申込みください。

※市立幼稚園教諭は、申込方法が異なります。(Plant 全国教員研修プラットフォームでの申込)

研修の申込は、6月2日(月)からとなります。

【手順1】

研修案内2～3ページ「研修一覧」から、受講を希望する研修を選択し、

二次元コードを読み取ります。

場	講師	二次元コード
認定こども園 おとぎのくに 竹口 敦子		
北海道教育大学札幌校 教授 花輪 大輔		
市立幌南小学校 教諭 梅村 拓未		
北海道教育大学札幌校 教授 花輪 大輔		

ここにある二次元コードを読み取ると、Google フォームにつながります。

<注意>

多数の二次元コードを掲載しています。Google フォームで回答をする前に、必ず研修講座名をご確認ください。

【手順2】

Google フォームに必要事項を入力し、送信します。**複数の受講を申し込む場合は、同じように【手順1】から行ってください。**

【Y01】家庭や地域、社会とつながる幼児教育
B I U 〇 X
実施日時：令和7年10月2日(木) 18:00～20:00 会場：ちえりあ 6階講堂
メールアドレス*
有効なメールアドレス
このフォームではメールアドレスが収集されます。設定を変更
氏名(姓と名の間を1文字空ける)*
短文回答
園名(〇〇幼稚園、認定こども園〇〇、〇〇保育園など)* ※法人名は記入不要
短文回答

<入力上の留意点>

- ①「メールアドレス」には、**ご自身が常時使用できる携帯・パソコン・タブレット等のアドレスを入力**してください。
※申込完了後、Google から返信メールが届きます。
- ②「園名」については、〇〇幼稚園、認定こども園〇〇、〇〇保育園など、**法人名や施設形態を除いた園名を入力**してください。
(学校法人〇〇会〇〇幼稚園、認定こども園〇〇保育園など)
- ③「園の代表アドレス」は、**園長先生がメールを確認可能なアドレス**です。園で受講者個人に割り当てられているアドレスではありませんので、注意してください。

※園の代表メールアドレスへ、研修に係る連絡をすることがあります。随時、ご確認ください。

※受付は申込順に行います。状況によっては定員を定める場合があります。定員に達した場合や変更等につきましては、札幌市幼児教育センターホームページにてお知らせしますので、ご確認ください。



【問い合わせ先 幼児教育担当課 幼児教育企画・研修担当係 TEL：211-3892】

令和 年 月 日

札幌市教育委員会
教職員担当部長 様

※園名（ 区）

※電話番号

※園メールアドレス（私立園のみ記載）

※園（所）長名

研 修 欠 席 等 届

下記の事由により〔 欠席 ・ 遅刻 ・ 早退 〕いたしますのでお届けします。

記

1 講座名	コース	
2 講座日時	令和 年 月 日（ 曜日）	
3 参加者名		
4 事 由		

※この書式は幼児教育センターホームページからダウンロードできます。

【送付先 幼児教育担当課 幼児教育企画・研修担当係

E-mail: youjikyoku@city.sapporo.jp】

「訪問研修」のご案内



「日々の保育の話をも園の先生方で話してみたい」「園内で研修会を行いたいけれど、どのように取り組んだらよいのだろう」「園外の研修に出かけたくても、なかなか時間が取れない」等の思いはありませんか。

令和7年度から、**新しい内容を追加**して

市立幼稚園(研究実践園)教諭が、**園内研修に協力**します。

<選べる**③つ⑦**コース> **お気軽にお申込みください。**

★コース①「訪問研修」(60分プログラム)

- ・申込された園の事例などをもとに研修をすることができます。
- ・子どもの育ちを支える**環境の構成**や**援助**について学ぶことができます。
(「研修の流れ(例)」裏面をご覧ください)

子どもの理解・遊び

子どもの姿を語り合おう

保育の展開・環境の構成

夢中になって遊ぶ環境の構成を考えよう

特別支援教育

一人一人に寄り添い共に育ち合う
集団づくりのために

特別支援教育

子ども理解と保護者支援

幼児の健康に関する内容

※10月以降実施予定

お申込みは随時受け付けます。

★コース②「参観による研修」**New**

(30分からでもOK)

- ・60分間を目安に、ご希望に合わせて時間を設定できます。

保育中の参観

子どもが主体的に環境に関わって遊ぶ姿、教師の援助について、実際の保育の様子から学びたい方におすすめ！

保育後の参観

幼稚園の環境の構成や教材など、見学を通してじっくり学びたい方におすすめ！

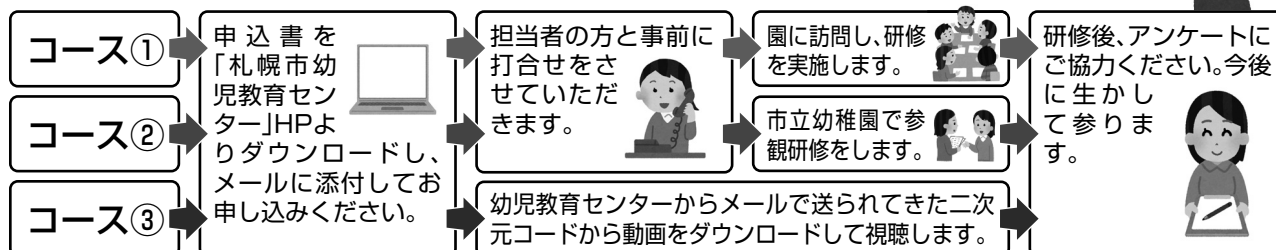
★コース③「動画視聴による研修」**New** (目的に合わせて気軽に活用)

～子どもの主体性を育む教師の支援・指導の在り方～

約10分間の動画！特別な教育的支援を必要とする幼児への支援から、子ども一人一人のよさを大切にした指導について学ぶことができます。動画の活用例については、裏面をご確認ください。

園内研修は、職員同士で、実践を振り返り、語り合うことで、専門性の高まりに繋がります。

申込方法 (1回につき一つの研修テーマになります)



申込お問合せ先

札幌市教育委員会 幼児教育担当課 幼児教育企画・研修担当係

TEL: **211-3892** メールアドレス: **youjikyoku@city.sapporo.jp**

申込用紙掲載ページURL:

<https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/youjikyoku/yousenn/kennkyuu2.html>



このような研修ができます「研修の流れ」(例)

訪問研修

60分間のプログラムです。
13:30～16:45の時間帯
から1時間を選択してくだ
さい。
(研修1時間の他、事前準備、片
付け等にお時間を頂きます)

～事前準備～

- 講義(10～15分)
 - ・テーマごとにスライドを
用いた説明
- 演習(40分程度)
 - ・各園の事例等を利用した
話し合い
- まとめ(5～10分)

～片付け～

特別支援教育

子ども理解と保護者支援

- 保護者との連携事例等を使用して
子どもや保護者への支援について
考える演習
- ・子どもの様子。(どうして
○○しているのだろう)
- ・保護者の様子や困り。
- ・先生の願い。
- ★ご相談いただいたお子さんと保護
者の事例でケース検討ができます。



子どもの理解・遊び 子どもの姿を語り合おう

- 子どもの遊びや生活の様子から、子
どもの見取りや援助について考え
る演習
- ・この遊びのどんなことを
楽しんでいるのか。
- ・育っているところを
考えてみよう。
- ★申込園の写真を使用して
演習を行うことができます。



保育の展開・環境の構成 夢中になって遊ぶ環境の 構成を考えよう

- 子どもの興味や関心を捉え、「やり
たい」思いから環境の構成を考える
演習
- ・心を動かす体験や、充実感
や満足感を得る遊び。
- ・発達過程に応じた教材や
環境の構成を考えてみよう。
- ★園児の発達や発想を生かした遊び
の演習を行うことができます。



特別支援教育 一人一人に寄り添い共に育ち 合う集団づくりのために

- 子どもが園生活で困っている場面
等の事例から育ち合いを生む環境
づくりや支援について考える演習
- ・先生が気になることは何か。
- ・子ども自身の困りは何か。
- ・どんな姿に育ってほしいか。
- ★ご相談いただいたお子さんの事例
でケース検討ができます。



幼児の健康に関する内容

現在準備中

※10月以降実施予定
お申込みは随時受け
付けます。



動画視聴による研修

活用の方法は様々！

～子どもの主体性を育む教師の支援・指導の在り方～

- 個人での学びのために視聴する
- 保育計画を立てる際の参考として、学年で一緒に視聴する
- 園内研修の一部として視聴し活用する など

参観による研修

60分間を目安に、ご都合に合わせて時間を設定できます。
「時間があまりないけど、30分くらいなら…」→OKです！
ご希望の時間を選択して、お申込みください。

保育中の参観

- 子どもたちが活動中の時間帯に参観。
- ・どのような遊び？どのように楽しん
でいる？
- ・教師の援助の様子は？どのようなことを大切にしている？
- ・環境構成が子どものどのような姿を生んでいる？
- ★遊びの様子、教師の援助、環境の構成について、実際に子
どもの姿から見取り、学ぶことができます。



保育後の参観

- 子どもたちの降園後の時間帯に参観。
- ・環境の構成や教材をじっくりと見学。
- ・翌日の準備をする教諭の様子を見学。
- ・見学をして分かったこと、もっと知りたいことなど、質問
交流を通して深い学びに。
- ★園内見学や教諭との質問交流など、知りたいことをじっ
くりと確かめ、学ぶことができます。



保育者としての資質向上研修俯瞰図

(公財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構

		Hop	Step	Jump
A 愛されて育つ子ども	子どもの人権	A1-I 子どもの理解 (多様な子どもの受容) ○家庭環境、人権、職業等の違いの認識 ○差別的な言葉・表現の理解 (人権を守る保育) ○子どもの人権と権利の理解 ○性差/個性差の認識と共有 (支援を要する保育) ○インクルーシブ・特別支援教育の理解	A1-II 子どもの理解 (多様な子どもの受容) ○家庭環境、人権、職業等の違いの理解 (人権を守る保育) ○子どもの人権と権利の共有 ○子どもの権利条約 (生きる権利、育つ権利、守られる権利、参加する権利)の理解 ○ハラスメント/ジェンダーの認識 (支援を要する保育) ○インクルーシブ・特別支援教育の共有	A1-III 子どもの理解 (多様な子どもの受容) ○家庭環境、人権、職業等の違いの共有 (人権を守る保育) ○人権教育論の理解と共有 ○子どもの人権と権利の擁護 ○少年法/児童福祉法/発達障害者支援法/家族法/児童憲章等の理解と共有 ○子どもの権利条約 (生きる権利、育つ権利、守られる権利、参加する権利)の理解と共有 ○ハラスメント/ジェンダー/マイノリティ・共生社会・合理的配慮の共有 (支援を要する保育) ○インクルーシブ・特別支援教育の体制構築
	子どもの健康と安全 (健康的な園生活)	A2-I 健康的な園生活 ○視診・聴診 ○家庭との連絡(既往症と持病、アレルギー)の把握・対応・配慮 ○心身のケア/アタッチメント ○身体測定、健康記録 ○健康衛生指導 ○生活習慣指導 ○健康診断 ○与薬(薬機法) ○就寝管理/呼吸確認(定時・SIDS対応) ○救急法(ケガの対応・心肺蘇生法・AED等) ○エビソード等への対応	A2-II 健康的な園生活 ○食育(栄養管理) ○栄養衛生理論 ○園医等との連携 ○保護者への健康(保健だよりも含む)・栄養指導と支援 ○家庭への生活習慣指導と支援 ○与薬(薬機法) ○エビソード等への対応 ○園医・園歯科医・医療機関との連携 ○愛着(アタッチメント)理論	A2-III 健康的な園生活 ○食環境 ○栄養指導と支援(家庭向け) ○伝染病への対応 ○施設の衛生管理 ○薬品管理 ○子どもの生活環境に対する分析と提言 ○与薬(薬機法)
	子どもの健康と安全 (安全な園生活)	A3-I 安全な園生活 ○救急法(ケガ、火災、暴走車・AED、誤飲・誤食等) ○安全指導、安全管理 ○積極的なヒヤリハットの活用 ○自園の安全管理マニュアルの理解と確認 ○災害・危機管理マニュアル、危険予知・予防(遊具・園庭環境・園外保育・有害動植物等) ○侵入者防衛/対応	A3-II 安全な園生活 ○小児保健(緊急含む)、校医との連携 ○災害管理、安全確認(遊具施設、園内環境) ○後輩への安全指導 ○リスクマネジメント ○危機管理マネジメント ―防災計画・訓練(マニュアル)の検証	A3-III 安全な園生活 ○健康管理 ○責任者論 ○リスクマネジメント ○危機管理マネジメント ―防災計画・訓練(マニュアル)の企画・立案・作成・実施 ○重大事故・事件の報告・公表
	愛されていると感じられる保育	A4-I 愛情深い保育 ○心の教育・保育、心・情動に合った保育 ○人間観・子ども観 ○愛されていると感じられる保育 ○安心・安全を感じられる保育 ○自己肯定感・自尊感情の醸成 ○虐待・DV防止	A4-II 愛情深い保育 ○心の教育・保育、心・情動に合った保育 ○人間観・子ども観 ○宗教教育(仏教保育、神道保育、キリスト教保育等) ○愛・感謝・希望を育む保育 ○愛着形成(家庭・地域社会と共有)	A4-III 愛情深い保育 ○愛・感謝・希望を育む保育 ○宗教性を基盤に置いた保育
B 子どもと共に育つ保育者	人間性豊かな保育者	B1-I 人間性を磨く (視野の拡大) ○感性を磨く(芸術や美術に触れる) ○社会的活動(地域活動への参加など) ○ボランティア活動 ○積極的に関わりあふ	B1-II 人間性を磨く (視野の拡大) ○異業種体験 ○他園実習研修 ○リフレッシュの重要性を理解する	B1-III 人間性を磨く (視野の拡大) ○海外研修 ○自らへの投資を意識づける ○リフレッシュのタイミングを理解し、提案する
	子どもの心に寄り添い、共に生活し育ち合う	B2-I 子どもの理解 (育ちの理解) ○幼児期の発達理解 (子ども理解) ○多様な理解があることを知る (子どもを評価する様々な技能や客観化する手法(評価のスケール等)の研修) ○評価方法を知る (公開保育) ○自園で他の保育者の保育を見る ○他園の公開保育に参加し自園との違いを感じる (エピソードの記述) ○語り合いながら、育ちや学びを共有することを知る	B2-II 子どもの理解 (育ちの理解) ○乳児期と児童期の理解 (子ども理解) ○多様な理解をする (子どもを評価する様々な技能や客観化する手法(評価のスケール等)の研修) ○評価を使いこなす (公開保育) ○自園で互いの保育を見てもらい意見をもらう ○他園の公開保育に参加し自園の良さや課題を理解する (エピソードの記述) ○語り合ったり、記録したりすることを知る	B2-III 子どもの理解 (育ちの理解) ○青年期(生涯)の理解/生涯発達心理の理解 (子ども理解) ○多様な理解を提案し、その人らしさを引き出す (子どもを評価する様々な技能や客観化する手法(評価のスケール等)の研修) ○評価方法を考案する (公開保育) ○自園で互いの保育を見合い、園全体で共有する ○自園の保育を他園に公開する ○他園の公開保育に参加し自園と他園をコーディネートする (エピソードの記述) ○エピソードからの多様な読み取りを提案する
	遊びの専門性	B3-I 豊かな遊び (アウトドア体験) ○自然と触れ合い遊び方を知る (プレイパーク、遊び場研修) ○魅力的な遊び場を体験する (生き物と触れ合う(命と触れ合う)体験、自給自足体験) ○生き物と触れ合う(命と触れ合う)体験、自給自足体験 (自分の得意分野を持ち、保育に生かす) 絵画・造形・音楽・運動等の分野とそれ以外の分野 ○得意分野を知る	B3-II 豊かな遊び (アウトドア体験) ○遊びを工夫する (プレイパーク、遊び場研修) ○遊び場を創造する(園内) (生き物と触れ合う(命と触れ合う)体験、自給自足体験) ○生き物の知識などを増やす (自分の得意分野を持ち、保育に生かす) 絵画・造形・音楽・運動等の分野とそれ以外の分野 ○得意分野を磨く	B3-III 豊かな遊び (アウトドア体験) ○遊びを創りだし提案する (プレイパーク、遊び場研修) ○遊び場を再生する(地域) (生き物と触れ合う(命と触れ合う)体験、自給自足体験) ○生き物を生活に取り込む (自分の得意分野を持ち、保育に生かす) 絵画・造形・音楽・運動等の分野とそれ以外の分野 ○園の得意分野を園全体の保育に生かす
	社会人としての役割	B4-I 社会人としての自覚 (社会人としての姿) ○社会人としてのモラル、ルール、マナーを知る ○自分の仕事を理解し、慣れる ○組織の一員としての自覚を持つ ○クラス担任の仕事を理解する	B4-II 社会人としての自覚 (社会人としての姿) ○積極的にルールやマナーを理解する ○組織の一員として期待される役割を意識する ○自分の仕事の目的・役割を認識する ○学年としての見通しを持つ	B4-III 社会人としての自覚 (社会人としての姿) ○リーダーとしてのモラル、ルール、マナーを知る ○保育者としてのあり方を具体的に明らかにする ○組織の活性化を図る ○仕事の目的・目標を明確化する ○仕事の効率化を図る
	自園の保育の理解と実践	B5-I 自園の保育の理解と実践 (自園理解(建学の精神・園としての持ち味)) ○自園の教育・保育理念を理解する ○自園の教育課程を理解する (日常の保育の点検) ○保育のねらいを理解し意識する ○園のルールを知り、理解する (行事) ○行事の意義を知る	B5-II 自園の保育の理解と実践 (自園理解(建学の精神・園としての持ち味)) ○自園の教育・保育理念の特長を理解する ○教育課程を編成する (日常の保育の点検) ○保育のねらいを点検し見直す ○園のルールを検証し見直す (行事) ○行事を点検・検証し見直す	B5-III 自園の保育の理解と実践 (自園理解(建学の精神・園としての持ち味)) ○自園の教育・保育理念の特長を継承し課題を改善する ○自園の教育・保育理念を編成・明文化する ○教育課程を見直し再編する ○自然環境・遊び場マップをつくる ○子育て講座を実践する (日常の保育の点検) ○意見を集約し再構成する ○保育の目的やルールの意義を評価し見直しを投げかける (行事) ○意見を集約し検証し再構成する
C 教育・保育理論	職場における同僚性	B6-I 同僚性を高める (人間関係力) ○専任、相談 ○積極的にコミュニケーションを図る ○メンター(助言者)等に協力を求める ○ワークショップに参加する	B6-II 同僚性を磨く (人間関係力) ○指導、助言が相手の立場に立てできる ○リーダーの役割を学ぶ ○メンターを指名する ○メンターの役割を担う	B6-III 同僚性を磨く (人間関係力) ○ワークショップを運営する ○次代のリーダーを育てる
	保育の歴史や思想を知る	C1-I 歴史と思想 ○現代社会における子どもの問題 ○現代の教育・保育施設の誕生と理念 ○ジャン・ロック、ルソー、ペスタロッツ、フレーベル、デュエー、エレン・ケイ、モンテッソーリ、ニール・シュタイナー、マラッツァーティ など ○オーベルランの幼児保護所、オーエンの幼児学校、フレーベルのキンダー・ガルテン、モンテッソーリの子どもの家、マクミランの保育学校、ニールの自由学校、シュタイナー学校、レジオン・エミリアの幼稚園 ○ヘッドスタート計画	C1-II 歴史と思想 ○社会変化と子どもの状況 ―保育思想の芽生え ○保育制度や乳幼児期教育施設の変遷	C1-III 歴史と思想 ○現代の保育制度と保育理念 ○多様化する保育ニーズ
	保育を支える発達の理論を知る	C2-I 発達理論 (発達に即した保育) ○保育から見取る身体的・知的発達 ○保育を通して見る発達段階と保育課題 (発達の基礎理論) ○幼児期の育ち 身体の育ち、情動の育ち、言葉の育ち、知的な育ち、友達関係の育ち ○ピアジェ、ビゴツキー、ワロン、エリクソン、ハーヴィ・ガイスト、ボールビイ、アインズワース など ○発達のとらえ方、発達段階説、発達の最近接領域、発達遅延、内言語、愛着の形成、「母性的養育の喪失」の問題	C2-II 発達理論 (発達に即した保育) ○応答的に環境にかかわることの意味 ○自我の発達と家族関係の心理 ―愛着の形成とレジリエンス ○子どもの姿と発達理論上の相連の理解 (発達の基礎理論) ○乳児期から児童期の育ち 社会性の育ち、道徳性の育ち、認知機能の育ち、自我・性格の育ち	C2-III 発達理論 (発達に即した保育) ○応答的な人的環境とは ○保育者の心理 ○現代の社会環境での発達の課題 (発達の基礎理論) ○生涯発達の視点 主要な発達理論の理解と乳児期、幼児期、児童・青年期の連続性とその規定要因の理解
	日本の保育制度を知る	C3-I 制度の理解 (保育の歴史) ○我が国の保育施設と保育施設 ―社会の変容と保育施設 ―子育て・保育に関する報道から見える考え方 ―ベビーホテル等の保育環境 (教育・保育制度) ○幼稚園・保育所・こども園・認可外保育施設の違い ○学校と児童福祉施設の違い ―家庭を補完し、発達を援助する ―幼児を保護し、家族を支援する ○東京女子師範学校附属幼稚園、新潟静修学校付属の幼児施設、二葉幼稚園、須永保母伝習所 ○倉橋惣三、城戸輔太郎、A.L. ハウ女史 など ○幼稚園令、保育要綱から幼稚園教育要綱、保育所保育指針、認定こども園教育・保育要綱	C3-II 制度の理解 (保育の歴史) ○保育制度の歴史と自園の設立の経緯 (教育・保育制度) ○自園を取り巻く環境と保育制度の関係 ―労働環境・家庭環境と開園時間など ○少子化時代の乳幼児教育施設 ―エンゼルプラン・次世代育成支援法、子ども・子育て支援法などの政策とその意味	C3-III 制度の理解 (保育の歴史) ○創生期の幼児教育施設とその思想的リーダー ○社会情勢の変化に伴う教育施設の変遷と多様化 ―幼稚園・保育所の成り立ち (教育・保育制度) ○保育制度の多様化が生む教育・保育観の違い ―幼稚園・保育所の歴史的経緯 ―児童中心主義と教師(大人)中心主義 ―経験主義の学力観と系統主義の学力観 ○平成元年の幼稚園教育要綱改訂の意義 ○発達・保育歴の継続性と制度上の課題点 ○現代的課題・保育者・保育団体の役割

D	子どもの育ちも理解	Hop	Step	Jump
		D1-I 育ちの理解(事例研究) ○胎児から誕生までの育ち ○誕生から就学までの育ち ○身近な大人との関係の中での育ち ―基本的信頼感、愛着形成、自我の芽生え、自己主張 ○自己肯定感と自己有能感の獲得 ○子ども同士の関係の中で ―自己発揮、自己抑制、自律の獲得 ―一人遊び～集団遊び、ごっこ遊び ―母子分離、けんか、協同する経験	D1-II 育ちの理解(事例研究) ○認知の発達(育ちの節目の理解) ○協同的学びの展開 ○縦割り保育、異年齢交流を実践する ○目に見えない「内面や心」の理解(非認知能力の育ち) ○同僚性を基盤としたチームとしての学び合い	D1-III 育ちの理解(事例研究) ○園の教育・保育理論の確立(リーダーとして) 子ども理解に始まる保育・教育 乳児期の保育と幼児期の教育の一体化(インテグレーション) ○学童期の発達(スタートカリキュラムの理解) ○人生の基礎を培う乳幼児期 コミュニケーション力・社会人基礎力・批判的思考力
		D2-I 育ちの記録(取る) ○個人記録 ○保育者目録 ○様々な記録(エピソード、環境図、写真、動画)	D2-II 育ちの記録(利用する) ○日記からエピソード ○保護者との育ちの共有 エンビード、ドキュメンテーション、ポートフォリオ ※写真等の活用 ○肯定的視点による記録 ○集団の記録 ○個別記録の引き継ぎ	D2-III 育ちの記録(生かす) ○エピソードに基づく育ちの検証と記録ができる ○園内研修(ケース会議)を企画する ―子ども理解から始まる教育・保育実践 ○園内研修の実施とファシリテーション ○保育へのフィードバック ○研修の目的を達成する
E	保育実践	D3-I 特別支援教育の理解 ○特別支援とインクルーシブ教育 ○様々な障がいに関する基礎知識(閉症スペクトラム、合理的配慮等) ○特別支援教育の実践基礎	D3-II 特別支援教育の保育実践 ○園内の連携、家庭との連携(家庭支援) ○個別の指導計画	D3-III 特別支援教育の環境整備 ○ケースカンファレンス ○基礎的環境整備 ○個別的教育支援計画 ○小学校、専門機関との連携
		E1-I 自園の教育・保育課程 ○教育・保育課程が目指す理念の理解 ○教育・保育課程を生かした指導計画の作成	E1-II 自園の教育・保育課程 ○教育・保育課程が目指す理念の理解と共有 ○教育・保育課程を生かした指導計画の検証と、保育現場における課題の明確化 ○教育要領、教育・保育要領など自園の教育・保育課程との関連性の理解	E1-III 自園の教育・保育課程 ○自園教育理念の明確化 ○教育要領、教育・保育要領など自園の教育・保育課程との整合性の検証 ○誕生から小学校以降までの育ちを見通した教育・保育課程の編成、解説、共有、見直し ○幼児教育の社会的意義を社会に発信する方策とエビデンス
		E2-I 実践のための知識 (様々な保育形態) ○異年齢混合保育、チーム保育、預かり保育などの理解 (個と集団) ○個と集団の関係性の理解 (年齢に応じたかわり) ○年齢や発達に応じた保育内容やかわり理解する ○年齢や発達を考慮した学級運営の基礎知識 (遊びの知識と理解) ○伝承遊び、自然とかかわる遊び、新しい遊び (教材の知識と理解、作成) ○各教材の使い方の理解 ○教材の選択、作成 (発達や学びの連続性の保障) ○保育所保育指針等小学校学習指導要領の基本的理解	E2-II 実践のための知識 (様々な保育形態) ○異年齢混合保育、チーム保育、預かり保育などへの柔軟な対応 (個と集団) ○個と集団の関係を生かした学級運営の実践 (年齢に応じたかわり) ○年齢や発達に応じた保育内容やかわりの検証 ○年齢や発達を考慮した学級運営の検証 (遊びの知識と理解) ○遊びの意味と育ちへのつながり ○自然発生的な遊びの重要性 (教材の知識と理解、作成) ○各教材と育ちへのつながりの理解 ○教材の選択、作成、改良 (発達や学びの連続性の保障) ○乳児期の保育や小学校以降の学習へのつながりを意識した保育	E2-III 実践のための知識 (様々な保育形態) ○自園の教育理念に基づく保育形態の選択 ○保育形態への理解を促す解説、価値観の共有 (個と集団) ○個と集団の関係を生かした園の体制づくり (年齢に応じたかわり) ○年齢や発達に応じた保育内容やかわりを、生涯の育ちという観点から検証 (遊びの知識と理解) ○遊びの意味と育ちへのつながりの解説と共有 (教材の知識と理解、作成) ○各教材と育ちへのつながりの解説と共有 ○教材の開発 (発達や学びの連続性の保障) ○乳児期の家庭支援や小学校以降の学習との連続性を意識した基礎的環境整備
F	子どもが育つ家庭や地域	E3-I 計画の立案 (保育の理解と計画) ○心情、意欲、態度の育ちの基本 ○環境を通しての保育の基本 ○遊びを通しての育ちと学びの基本 ○協同的な遊びと学びの基本 (保育案等の作成) ○主体性が生きる保育案の工夫 ○行事の意義の理解 ○特別支援教育における個別指導の理解、計画の作成 ○0、1、2歳児における個別指導の理解、計画の作成	E3-II 計画の立案 (保育の理解と計画) ○遊びや活動の充実を意図した実践 ○環境を通しての保育の実践 ○遊びを通しての育ちと学びの実践 ○協同的な遊びと学びの実践 ○遊びや活動を充実させる時間設定の工夫 (保育案等の作成) ○実践に生きる保育案のあり方と再構築の考察 ○行事の立案 ○特別支援教育を充実させる個別指導計画のあり方 ○0、1、2歳児保育を充実させる個別指導計画のあり方	E3-III 計画の立案 (保育の理解と計画) ○遊びや活動を充実させる時間的な環境づくり ○現場で生じる指導計画や保育案のフォーマット作成 ○指導計画の存在と大切さを社会に発信する方策 (保育案等の作成) ○保育案等に基づく保育者の指導 ○行事の立案と再構築 ○特別支援教育を充実させる個別指導計画の作成指導 ○0、1、2歳児保育を充実させる個別指導計画の作成指導
		E4-I 環境の構成 ○環境構成の重要な理解 ○自然環境、飼育と栽培、人工的な教材等の基本的な知識と理解 ○魅力的な環境づくりのための技術の習得 ○環境の要としての保育者のあり方 ○子どもと共に環境をつくることの意義 ○コーナー保育などの理解	E4-II 環境の構成 ○環境構成と再構成の重要な理解 ○自然環境、飼育と栽培、人工的な教材等の構成と応用 ○魅力的な環境づくりのための技術の応用 ○環境の要としての保育者のあり方 ○子どもと共に環境をつくり出す方策 ○落ち着ける環境の理解と創出 ○地域資源(自然、文化、人材、伝承行事等)の発見と活用方法の創出	E4-III 環境の構成 ○環境の構成と再構成を進めやすい基盤づくり ○環境と保育者、子どもの関係の明確化 ○自然環境、飼育と栽培、人工的な教材等の精査、導入 ○地域資源(自然、文化、人材、伝承行事等)の活用につながる基盤づくり ○環境づくりの技術指導
		E5-I 指導、援助、見守り等の実践 ○子どもに寄り添う共感的な対応 ○子どもに対して使う言葉の精査と非言語の表現(表情、まなざし、身体表現等)の理解 ○具体的な保育技術、実践内容の精査、継承 ○手段としての保育の理解 遊びの伝承と創造の実践 子どもの主体性の尊重 子ども一人一人の違いの理解 個と集団の関係を意識した実践	E5-II 指導、援助、見守り等の実践 ○指導、援助、見守り等の適切な使い分け ○子どもに対して使う言葉や非言語の表現の適切な使い分け ○質の高い保育技術、実践内容の精査、継承 ○手段としての保育の継承 子どもの育ちに生じる遊びの伝承と創造 子どもの主体性を伸ばす実践のあり方 子ども一人一人への適切な対応 一人一人を生かす集団保育のあり方 個と集団の関係を意識した実践	E5-III 指導、援助、見守り等の実践 ○安心して実践を進められる基盤づくり ○保育技術や実践内容の検証と評価をする仕組みづくり ○保育技術や遊びが継承していく仕組みづくり ○園長自らの文化の創造と精査、継承していくための方策と風土づくり
F	子どもが育つ家庭や地域	E6-I 記録 (観察の視点) ○様々な観察の視点の理解と思考 (記録方法) ○様々な記録方法の理解 個人の記録と集団の記録 エピソード記録、記述など (記録の整理と活用) ○記録の整理と活用	E6-II 記録 (観察の視点) ○観察の視点の適切な使い分け (記録方法) ○よりよい記録方法の工夫 (記録の整理と活用) ○記録の整理による共有と活用	E6-III 記録 (観察の視点) ○観察の視点についての指導 (記録方法) ○よりよい記録方法の作成、見直し (記録の整理と活用) ○記録の共有と活用
	子どもが育つ家庭や地域	E7-I 実践の評価 ○評価の意義の理解 自分の実践を客観的に振り返り、課題を発見する手段として ○保育者間のカンファレンスの意義 ○計画、実践への反映の理解と思考	E7-II 実践の評価 ○評価方法の精査と園内での評価結果の共有 ○保育者間のカンファレンスのあり方 ○園の課題の発見と園内での共有 ○計画、実践への適切な反映	E7-III 実践の評価 ○評価結果に基づく社会への発信 ○情報共有を促進する関係性の豊かな保育者集団の醸成 ○社会の課題の発見と共有 ○計画、実践に反映できる仕組みづくり
		F1-I 連携の視点 (保・幼・小の連携を学ぶ) ○幼児と児童の交流を知る ○保・幼・小の教職員同士の交流を知る ○小学校のスタートカリキュラムを学ぶ (保護者との連携ができる) ○連絡係の活用方法 ○コミュニケーションの方法を学ぶ ○保護者との懇談会等のあり方を学ぶ (教育相談の方法と実践を知る) ○教育相談の基本的姿勢 ○個別面談の基本的技法 ○カウンセリングマインドを活用した教育相談の理解 (情報発信(497))の活用方法を知る) ○便利さと危険性の理解	F1-II 連携の視点 (保・幼・小の連携を理解する) ○幼児と児童の交流の企画 ○保・幼・小の教職員同士の交流を企画 ○接続を見通したカリキュラムを理解する (保護者との連携に努める) ○保護者等とのための連絡帳 ○コミュニケーション能力を高める ○保護者との懇談会等の運営を学ぶ ○活動情報誌の作成と活用方法 (教育相談の方法と実践を学ぶ) ○教育相談、個別面談の実践 ○カウンセリングマインドを活用した教育相談の理解と実践 (メディアの活用方法を考える) ○Webを活用した情報発信とは ○便利さと危険性の理解	F1-III 連携の視点 (保・幼・小の連携への理解と実践) ○接続を見通した交流の企画・運営 ○保・幼・小の発達や学びの連続性を踏まえたカリキュラムの編成 (保護者との連携を深める) ○保護者との懇談会等の運営を企画する ○活動情報誌の作成と活用方法 ○保護者同士の交流の場の提供 ○教育方針、内容理解のための啓発手法 (教育相談の方法と実践を工夫する) ○教育相談の生かし方 ○個別面談の生かし方 ○カウンセリングマインドを活用した教育相談の理解と実践 (メディアの活用方法を発信する) ○Webを活用した情報発信と活用 ○情報発信の活用
F	子どもが育つ家庭や地域	F2-I 子育て家庭の支援 (家庭を支援する必要性の理解) ○預かり保育の取り組み ―教育時間終了後の預かり保育の理解 ―家庭との緊密な連携を図る ―保護者の要請や地域の実態を知る ○子どもと家庭の変容 ―子どもの育ちの変容を理解する ―子育ての変容を理解する ―家庭・家族の変容を知る ―子どもと家庭と家族の変容の関連を理解する ○子どもとよき家庭と共有する ○子どもに寄り添う対応 (特別なニーズを持つ家庭を知る) ○療育環境の理解 ○不適切な対応・虐待への理解と早期発見 ○DV(ドメスティック・バイオレンス)の理解 ○ひとり親家庭への支援 ○子どもの貧困について学ぶ ○自分の育ち(被虐待体験)を振り返る	F2-II 子育て家庭の支援 (支援が必要な家庭へのアセスメント) ○預かり保育の保育内容に関する計画 ―幼稚園教育の基本的な考え方を踏まえた保育内容の計画・実践 ―幼児の生活が豊かなものとなる環境を考える ○親の養育観の理解 ○家庭を取り巻く社会環境の理解 ○子育て意識の変容の理解 ○子育ての負担感や不安感への理解 ○子育てと親育ちへの支援のあり方を学ぶ ○未就園児の親子登園の現状を知る (特別なニーズを持つ家庭を学ぶ) ○虐待への理解と対応 ○DVの理解と対応 ○ひとり親家庭への対応 ○子どもの貧困の現状を知る ―格差の拡大―	F2-III 子育て家庭の支援 (アセスメントを活用した支援を検討) ○預かり保育の運営並びに支援 ―園内体制の整備 ―関係機関との連携、協力 ―地域の幼児期の教育のセンターとしての役割 ○子育てと親育ちへの支援 ○0・1・2歳児の家庭支援のあり方 ○未就園児の親子登園の運営 (特別なニーズを持つ家庭への支援) ○虐待への理解を深める ○DVの理解と対応 ○DVの理解と対応 ○ひとり親家庭への対応と支援 ○子どもの貧困への支援
		F3-I 社会資源の理解 (身近な社会資源を知る) ○病院、保健所、保健センター、福祉事務所、図書館、子ども館など (専門機関との交流の意義を知る) ○保健師との連携を考える ○児童相談所、療育センター、保健センターの役割を知る (コミュニティ・スクールの取り組みを知る) ○PTA活動・保護者会を理解する ○地域住民の思いやニーズを知る ○運営にあたって様々な取り組みを知る	F3-II 社会資源を知る (専門機関との交流を深める) ○児童相談所、療育センター、保健センターとの交流 ○特別支援教育コーディネーターとの交流について ○民生・児童委員、主任児童委員の役割 ○児童相談所、療育センターの役割と利用方法 (コミュニティ・スクールの実践を学ぶ) ○PTA活動・保護者会の取り組みを学ぶ ○地域住民の思いやニーズを共有する ○先進的な運営の実践を学ぶ ○園や支援組織・団体との連絡調整を学ぶ	F3-III 社会資源を知る (専門機関との連携) ○児童相談所、療育センター、保健センターとの連携について ○特別支援教育コーディネーターの役割と連携について ○民生・児童委員、主任児童委員との連携 ○子育てワークの支援を学ぶ ○子育て支援センターの役割と利用方法 (コミュニティ・スクールの運営) ○PTA活動・保護者会を運営する ○地域住民の思いやニーズを共有する ○支援者と園の課題や目指す幼児期の共有を図る ○活動計画を作成し実践に取り組む

幼児教育センター 研修カレンダー

コース	実施日	時間	講座名	会場
Y07★	7月18日(金) より配信	—	幼児教育施設における危機管理	動画配信
L07	7月18日(金) より配信	—	食育 ～幼児教育における実践～	動画配信
L11★	7月18日(金) より配信	—	乳幼児期の母子保健・家庭支援	動画配信
L16	7月18日(金) より配信	—	子どもの人権から保育を考える	動画配信
Y02	7月30日(水)	13：30～16：45	運動遊びから考える保育実践① ～乳幼児期に大切にしたい動きや経験～	ちえりあ 4階 体育室
Y06★	8月4日(月)	9：30～12：15	幼児期の健康管理	ちえりあ 6階 講堂
A21★	8月6日(水)	9：30～12：15	「遊び」は「学び」～子どもの主体性を支える教育～	ちえりあ 6階 講堂
C06	8月6日(水)	14：30～16：45	障がいの理解と保護者支援【幼児期】	ちえりあ 6階 講堂
A23★	8月8日(金)	14：30～16：45	幼児教育から小学校教育への円滑な接続 ～架け橋期を考える～	ちえりあ 6階 講堂
B01★	8月21日(木)	15：00～16：45	虐待への対応と関係機関との連携【幼児編】	ちえりあ 6階 講堂
Y08★	8月29日(金)	14：30～16：45	保護者や地域とつながる幼児教育施設の役割	ちえりあ 6階 講堂
Y03	9月8日(月)	14：30～16：45	子どもの「表したい」を支える① ～造形遊びを通して～	ちえりあ 6階 講堂
Y01	10月2日(木)	18：00～20：00	家庭や地域、社会とつながる幼児教育 ～質の高い幼児教育の実践のために～	ちえりあ 6階 講堂
C05★	10月9日(木)	9：30～12：15	特別な教育的支援を必要とする幼児の指導 (公開保育)	市立きくすいもとまち 幼稚園
C07	10月10日(金)	14：30～16：45	帰国・外国人幼児への指導のポイント ～安心して自己を発揮できる園生活のために～	ちえりあ 6階 講堂
Y05	12月8日(月)	14：30～16：45	子どもの「表したい」を支える② ～描画の発達原理と指導～	ちえりあ 6階 講堂
Y04	1月7日(水)	13：30～16：45	運動遊びから考える保育実践② ～体を動かしたくなる遊びと環境づくり～	ちえりあ 4階 体育室

※★印の講座は中堅教諭等資質向上研修受講者の指定研修を兼ねています。

札幌市教育委員会

幼児教育担当課（札幌市幼児教育センター）

〒006-0002 札幌市中央区北2条西2丁目15 STV北2条ビル
TEL 011-211-3892 FAX 011-211-3862

